

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ポコアポコ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	野外活動を通して、裸足遊びやどろんこ遊びなど、五感を刺激する体験を積極的に取り入れています。	自然に触れる体験を日常的に取り入れ、子どもたちが様々な感覚を通して環境を感じ取りながら、主体的に遊びや活動へ参加できる環境づくりを行っています。	自然体験活動を継続・発展させ、五感を使った体験活動を通して、子どもたちの「生きる力」や探究心を育む支援をさらに充実させていきます。
2	手作り味噌を使用した味噌汁を毎日提供し、子どもたちが温かい食事に触れる機会を大切にしています。	畑で育てた野菜の収穫体験と食事を結びつけることで、食への関心や感謝の気持ちを育てる食育活動に取り組んでいます。	プランターや畑を活用した野菜栽培や水やり、収穫などの体験を通して、食材の成長や自然の循環を感じられる活動を取り入れ、五感を活かした食育活動をさらに充実させていきます。
3	非常災害対策マニュアルを整備し、地震等の災害発生時に備えた体制を整えています。	非常災害対策マニュアルの作成に加え、定期的な避難訓練を実施し、職員間で災害時の対応手順を確認・共有しています。	避難時の役割分担や送迎時の対応を含めた災害対応について継続的に確認し、保護者への周知も行いながら、より安全な避難体制の構築を進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携をより一層充実させていきます。	情報共有や連携の重要性は認識しているが、日々の発達支援や送迎業務の中で、十分な情報共有の機会を確保することが難しい場面があります。	関係機関との情報共有やケース会議への参加を積極的に行い、子どもの状況や支援方針を共有しながら、地域と連携した支援体制の充実を図っていきます。
2			
3			